

教科： 国 語 科目： 国語総合

学習指導要領		塩釜高校 学カスタンダード	指導の手立て (学習活動・使用教材等)
A 話 す こ と ・ 聞 く こ と	ア 話題について様々な角度から検討して自分の考えを持ち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。	調べた内容を参考にして自分の考えを持ち、根拠に基づいて話すことができる。	意見の発表を行う。(必ずしも、スピーチ、意見発表という演説形式のものにする必要はない。) ・課題文を読み、発問に即して、読み取った内容を人に伝える。
	イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。	目的や場に応じて、分かりやすく適切な言葉で話したり、メモを取りながら聞き取ったりすることができる。	・必要な場面で、自分の知識や考えを人に伝える。 ・他者の話を聞く時にメモを取る。 ・板書を書き写すだけではなく、理解と定着のために必要な情報を選択し、記録するよう意識する。
	ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。	相手の考えを受け止め、自分の考えを説明し、円滑に話し合うことができる。	・他者の意見に対して、質問や意見を述べる。 ・グループの話し合いなどを自らの考えに生かす。 ・役割分担をし、言葉遣いを考えて話し合う。
	エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。	自己評価や相互評価を通して、自分の話し方や言葉遣いを見直し、自分とは異なるものの見方、感じ方、考え方に気づくことができる。	・他者の意見に素直に耳を傾け、自分との違いを冷静に認識する。 ・相手や場に応じた語句の使い方、態度、論の構成を意識させる。

学習指導要領		塩釜高校 学カスタンダード	指導の手立て (学習活動・使用教材等)
B 書くこと	ア 相手や目的に応じ て題材を選び、文章の形 態や文体、語句などを工 夫して書くこと。	誰に向かって何のために書くのかを考え、題 材や文章の形態にふさわしい文体や語句を 用いて書くことができる。	・実際に作文を行う。 ・常に読み手の視点に立 って自分の文章をチェッ クする習慣を付ける。 ・常体敬体を使い分ける。
	イ 論理の構成や展開 を工夫し、論拠に基づい て自分の考えを文章に まとめること。	論理の構成や展開の仕方について知り、自分 の考えをその根拠と結びつけて文章にする ことができる。	・6～800字程度の意 見文を書く。 ・段落構成を意識する。 ・適切な事例の使用を考 える。
	ウ 対象を的確に説明 したり、描写したりする など、適切な表現の仕方 を考えて書くこと。	説明や描写の違いなどを知り、相手や目的を 意識した表現の仕方を書くことができる。	・目的と語彙、文体との関 係を考えながら書く。 ・事実や事柄などを具体 的に順序立てて書く。
C 読むこと	エ 優れた表現に接し てその条件を考えたり、 書いた文章について自己 評価や相互評価を行 ったりして、自分の表現 に役立てるとともに、も のの見方、感じ方、考え 方を豊かにすること。	自他の文章への評価を通して、自分の表現を 見直し、自分とは異なるものの見方、感じ方、 考え方に気づくことができる。	・読解の際に、作者の表現 に対する工夫を意識する。 ・生徒相互に作文を読み 合わせる。その際、相手の 意見を尊重するよう留意 する。
	ア 文章の内容や形態 に応じた表現の特色に 注意して読むこと。	【現代文】 文章の形態（小説、評論、韻文など）におけ る表現の特色を意識しながら読むことがで きる。	・教科書を用いた読解練 習。 ・音読を通して小説の表現 や韻文のリズムを味わう。 ・比喩法の種類を知り、そ れを文章中で指摘する。

学習指導要領		塩釜高校 学カスタンダード	指導の手立て (学習活動・使用教材等)
イ	文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。	【古典】 比較的短く平易な文章について、文章の形態の違いを知り、表現技法や語句の使い方に注意して読むことができる。 【現代文】 文脈をとらえ、筆者の考え方などを読み取ったり要約したりすることができる。	〈古文〉 ・歴史的仮名遣いの音読 ・作品のジャンルを意識して読む。 〈漢文〉 ・返り点の性質を理解し、音読する。 ・詩の形態や押韻を理解し、指摘する。 ・文章中のキーワードを指摘する。 ・指示語や接続詞を意識して読む。 ・作者の主張と具体例とを区別し、主張を中心に要約する。
	ウ	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 【古典】 比較的短く平易な文章を、基本的な文語のきまりや訓読のきまりに注意して、傍訳などの助けを得ながら、読み取ることができる。 【現代文】 登場人物を押さえ、行動や性格、心情の変化をとらえることができる。 登場人物の心情が、情景描写にしばしば反映 ・象徴されることを理解する。	〈古文〉 ・基本的な用言、助動詞、敬語、係り結びを理解して文を読む。 〈漢文〉 ・基本的再読文字（未、将など）、置き字（而、於など）、句法（使役、否定）を理解して文を読む。 ・登場人物の心情が情景描写にしばしば反映・象徴されることを理解しようとする。

学習指導要領		塩釜高校 学カスタンダード	指導の手立て (学習活動・使用教材等)
		【古典】 比較的短く平易な文章の場面や人物を押さえ、誰が、どうしたという流れを読み取ることができる。	〈古文〉 ・ 5 W 1 Hを読み取る。 ・ 心の中で思った部分を指摘させる。 〈漢文〉 ・ 5 W 1 Hを読み取る。 ・ 作者の心情を把握させる。
	エ 文章の構成や展開を確かめ、ないような表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。	様々な文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について考えたり、書き手の主張をとらえたりすることができる。	・ 各段落の働きを理解し、段落相互の関係を読み取る。 ・ 情景や心情に注意して、作品全体の筋をとらえる。 ・ 文体の効果や語彙上の工夫、対比、比喩などの使用と効果を理解する。 ・ 意見と具体例とを区別しながら、作者の強調点を把握する。
	オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。	様々な形態・内容・分野の本や文章を読み、そこから得た情報を評価し、自分の考えを持つことができる。	・ 教科書から取り扱うテキストを選択する段階で、内容や文体の多様性を確保できるよう留意する。 ・ 読解を踏まえて意見文としてまとめる。

学習指導要領		塩釜高校 学カスタンダード	指導の手立て (学習活動・使用教材等)
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気づき、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。	日本の伝統的な言語文化について基本的な事柄を知り、また外国の文化の影響に気付くことができる。	〈古文〉 ・和歌の朗詠や贈答の習慣を理解する。 ・基本的な古典知識(月の異名・十二支など)を確実に身に付ける。 〈漢文〉 ・中国からの影響のうち、基本的なもの(故事成語など)を学ぶ。
	(イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。	基本的な文語のきまり、訓読のきまりを理解し、文章の音読や読解を行うことができる。	〈古文〉 ・歴史的仮名遣い、用言の活用、基本的な10程度の助動詞、係り結び、敬語法などを理解する。 〈漢文〉 ・訓点、基本的な5つ程度の再読文字、置き字、句法(否定、使役)の知識を身に付け、訓読できるようにする。
	イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 (ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。	【現代文】 語句、語彙の構造的な仕組みとしての成り立ちについて基本的な事柄を知り、また、他の言語との比較から明らかになる表現の特色や、社会における言語の役割について基本的な事柄に気づき、活用することができる。 【古典】 語彙の歴史的な成り立ちと変遷、語彙の歴史的な経緯について基本的な事柄を知る。	・熟語の構造を理解する。 ・和語、漢語、外来語の区別ができ、効果の違いを考える。 ・言語の主要な機能(認識、伝達、思考、想像など)を理解する。 ・歴史的仮名遣いを理解し、古文を正しく読むことができる。 ・基本的な古今異義語の意味の違いを知る。

学習指導要領		塩釜高校 学カスタンダード	指導の手立て (学習活動・使用教材等)
	(イ) 文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。	【現代文】 文の成分や文章の構成、語句の意味、用法及び表記の仕方などについて基本的な事柄を知り、活用することができる。 【古典】 古語辞典や漢和辞典を引くことができ、基本的な古語や漢語の意味を知る。	・文の成分（主語、述語、修飾語など）を指摘することができる。 ・比較的平易な文章の段落構成を理解する。 ・説明的文章に使用される語句のうち、基本的なものの意味を理解する。 ・（古文）基本的な40語程度の古語の意味を理解する。 ・（漢文）基本的な20程度の語法・句法の意味を理解する。
	ウ 漢字に関する事項 (ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。	常用漢字の大体を読み、学年別漢字配当表の漢字1006字を含む1500字程度を書くことができ、文や文章の中で使うことができる。	・サブテキストを用いて、漢字の習得に励む。